



# 診察室の午後

白浜はまゆう病院  
泌尿器科部長 川嶋 秀紀

白浜はまゆう病院に着任してこの7月で1年。患者さんには、受診していただくとともに、中には遠方から来てくださる方もあり、ありがたい限りである。病院のスタッフにはひとかたならぬお世話になっている。同僚の泌尿器科医にも恵まれ、少しずつ手術の件数も増えてきた。

本院での診療以外に、鮎川や日置の診療所での外来も行っている。診療所では、尿を遠心機にかけて顕微鏡で見る検尿を外来で行い、

つけ医による診療を進めている。簡単な排尿障害なら地域のかかりつけの先生にお薬を処方してもらえばよいと思う。しかし、病態が単純でない排尿障害もある。泌尿器科医による専門的な診療が必要な場合もある。何年も排尿に関する症状に悩まされていた方が「近くに泌尿器科ができたから」

過ぎてから運転免許を取った。意を決して教習所に行ったが、最初は相手にされなかったぞうだ。きっかけは利用していたタクシー会社がなくなくなったからと聞く。ずっと以前は、本数は少ないもののバスが近くまで通っていたと記憶する。思えば研修医や留学期間も含めて30年近く大学というところにお世話になり、臨床と基礎研究という二足のわらじを履いていた。早い時期から腹腔(ぶくろ)鏡の手術に取り組み、医局員がこの手術を習得できるように努めてきた。今、こうして医療の原点に立ち戻り、心の原風景のような地で診療を行っている。人はどこかに帰って行くのだらうと思ったりしている。

## 〈10〉 着任1年

いる。設備の整った病院での診療が必要な場合は、白浜はまゆう病院を含め近隣の医療機関に紹介させていただいている。診療所への道中は楽しい。富田川の水は澄み、海は美しい。国は政策として、かかり

と言って受診され、大変喜んでくれたことはとてもうれしかった。泌尿器科を受診される方は高齢の方が多く、病院までの足がない。余談であるが、紀の川市の山麓部に住んでいる私の叔母は60歳を

本院での診療以外に、鮎川や日置の診療所での外来も行っている。診療所では、尿を遠心機にかけて顕微鏡で見る検尿を外来で行い、

国は政策として、かかり